

①新型コロナ専門病院化に向けて

項目	現 状
診療科	総合診療科、糖尿病・内分泌内科、循環器内科、小児科、消化器内科、外科・消化器外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科
病床数等	263 床（看護配置 7：1）（一般224床、結核39床）
病棟編成	一般：4病棟（56床×4病棟） 結核：1病棟（39床×1病棟）⇒ 新型コロナ対応中
入院患者数	191.5 人/日（R元年度）一般：161.2人/日 結核：30.3人/日
外来患者数	491.5 人/日（R元年度）
医師数	44 名（R2.4.1現在）
看護師数	190 名（R2.4.1現在）



新型コロナ重点医療機関
新型コロナウイルス 感染症専門
現状スタッフからは稼働 90 床程度 （看護体制 5:1 想定）

②新型コロナ専門病院化への課題等

患者に関すること

1 現在の入院患者の転院先の確保

▷ 入院患者数(一般)の転院・退院⇒ 4月30日に完了

2 出産予定者の紹介先の確保

▷ 分娩予約数：280件 ⇒ 新たな医療機関へ紹介済

3 外来通院患者の紹介先の調整

▷ 予約患者への対応
・新型コロナ重点病院が長期化の場合に、現在、電話再診対応している患者に対する検査等のために医療連携体制の確保が必要

運用に関すること

4 コロナ患者の受け入れ体制

▷ 感染症の専門医確保、看護師等医療スタッフ確保
・新型コロナ重点病院が長期化の場合には、現状スタッフによる体制維持に影響が生じる可能性（専門性の観点、家族への不安等の理由での退職が想定される）
▷ 感染防止対策資器材確保（必要数を府市で確保し供給）

5 その他

▷ 結核病棟以外のフロアの感染防止対策工事（ゾーニングのための仕切り等）
⇒7階病棟：5月22日から運用予定／5・6階病棟：整備完了後順次
▷ 患者の転院に伴う費用負担（紹介状作成費用等の自己負担や移送費用など）
⇒詳細調整中
▷ 帰宅困難なスタッフの宿泊先の確保 ⇒5月1日から運用

③運用変更スケジュール

- 4月15日（水）入院患者の転院／退院調整を開始
- 4月30日（木）入院患者の転院／退院を完了
- 5月22日（金）7階病棟運用開始予定
- 6月 5・6階病棟運用開始予定